

T&D

スマジョロ

取扱説明書

ご購入ありがとうございます。この取扱説明書をお読みいただき、本製品を正しくお使いください。

株式会社 ティアンドティ

www.tandd.co.jp

© Copyright T&D Corporation. All rights reserved.
2022.08 16508190003 (第3版)

スマジョロ

給水ホース
ホース部分1.5 m / 内径13 mm

留め具とネジ4本

アルカリ単三乾電池2本

はじめにお読みください
取扱説明書(本書)
保証書

本書ではスマジョロを"本体"、"機器"と記載している場合があります。

取り付け前にご確認いただきたいこと

取り付け場所

強い風雨を避ける

高温環境下で使用しない

氷点下で使用しない

斜め・逆さまで使用しない

屋内に取り付けない

地面から30cm以上

留め具の準備

留め具(付属品)は厚さ20mm以上の木質材への取り付けが適しています。

留め具が傾かないように押さえつつ、均等にネジを締めてください。

- 留め具の縁を強く握ると手を負傷する恐れがあります。
- ネジを締めるとき、ドライバーが滑って手を負傷しないよう、厚手のゴム手袋を着用するなど対策をしてください。

製品仕様

型番	SJ1				
接続形式/口径	給水側: 専用ホースで蛇口に接続 散水側: ワンタッチ継手に接続				
適用流体	水				
適用水圧	0.1~0.7MPa (1~7kgf/cm ²)				
適用水流量*1	1~17L/分 (水圧3kgf/cm ² 、市販ホース (φ15) 30mを使用した場合)				
モーター寿命	1日240回の動作で約5年 (環境により異なります)				
液晶表示	散水状態、電池状態、通信状態、散水の残り時間、次の散水予定時刻、温度				
通信インターフェース	Bluetooth通信: Bluetooth 4.1 (Bluetooth low energy) 無線LAN通信: 規格: IEEE 802.11b/g/n (2.4GHzのみ) セキュリティ: WEP (64bit/128bit) , WPA-PSK (TKIP) , WPA2-PSK (AES) WPS 2.0: プッシュボタン方式 (アプリから操作) プロトコル: HTTP (クライアント) , DHCP, DNS				
無線LAN通信間隔	10分 / 1時間 / 2時間から選択、休止時間帯の指定				
タイマー設定	設定可能数	最大20件			
	設定内容	曜日、開始時刻、散水時間、散水間隔、気温条件			
	開始時刻	0:00~23:59 (1分単位)			
ボタン操作	散水時間	5秒~23時間59分55秒まで (5秒単位)			
	バルブ開閉動作 (10分間)				
記録内容	バルブ開閉履歴 (開閉ペアで300回分)				
電源	単3アルカリ電池×2				
電池寿命*2	無線LAN通信 OFF	無線LAN通信間隔 (通信休止設定: 12時間)			
		10分	1時間		
		約2ヶ月	約8ヶ月		
		約2ヶ月	約11ヶ月		
本体寸法	H98 × W99 × D94 (mm)				
本体質量	255g (電池含まず)				
本体動作環境	0~50℃ (凍結しないこと、結露しないこと)				
防水性能	防雨形 IP33				
ソフトウェア*3	スマートフォン/タブレット用アプリケーション (iOS/Android対応) T&D SmartValve				

*1: 適用水流量を超えて使用した場合、故障、動作不良の原因になります。水流量の範囲内でご使用ください。

*2: 電池寿命は通信回数、バルブ開閉回数、周辺温度、ネットワーク環境、電池性能などにより異なります。

*3: 応端末、OSバージョンについてはWebサイト (www.tandd.co.jp/software/) からアプリケーションの詳細をご確認ください。
上記仕様は予告なく変更することがあります。

本体の防水性能について

本体は防雨仕様IP33です。鉛直から左右60度以内の方向に落下する水滴によって有害な影響を受けない構造で、斜め、横、下 (地面から跳ね返りなど) 方向からかかる水は故障の原因になります。多少の雨や夜露、朝露程度は問題ありませんが、強い風雨がかけられない場所に設置することをおすすめします。ペットの尿にもお気をつけください。

高温環境下での使用について

湿度の影響で本体内部が結露すると故障の原因になります。温室などで散水する場合は、本体は室外に取り付けて、散水ホースを延長するようにしてください。

氷点下での使用について

本体やホースが凍結すると故障の原因になります。氷点下になる時期は、本体とホースを外して保管してください。

雨水などの貯水や地下水の使用について

貯水や地下水は十分な水圧 (0.1MPa以上) がないと使えません。上水に比べて不純物が多いため藻が発生しやすく、ホース内がつまる原因にもなります。

電池のセット

電池フタはツメ部分を押ししてスライドするように外します。はめるときはカチッと音を確認してください。

- +/-を間違えないよう、正しくセットしてください。
- ぬれた手で電池のセット/交換をしないでください。
- 使用する電池は必ず同じ種類で、使用推奨期限内のものをご使用ください。
- 長期間本体を使用しない場合は電池を外して保管し、使用を再開ときは新しい電池をセットしてください。

概要

スマジョロはBluetooth®通信 と無線LAN通信のどちらも使える自動散水タイマーです。現場でも、遠隔地でも、散水スケジュールを設定できます。散水時刻になるとスマジョロがバルブを自動開閉して散水します。

スマジョロの通信イメージ

散水パターン

設定した曜日と時刻に散水

曜日、開始時刻、散水時間を設定し散水を行います。

間欠散水

散水時間内に、設定した間隔でバルブ開閉 (On/Off) を繰り返して散水を行います。

散水設定+気温条件

散水設定に温度条件を加えると、散水時刻の気温 (*) が、設定値以上/ 以下の場合に本体が判断して散水を行います。

* 本体の底面にセンサが付帯しています。正確な測定のために、植物や物がセンサに触れないようにご注意ください。

気温が設定値以上の場合に散水するイメージ

使用できる水栓

蛇口を市販の給水栓ジョイントに取り替えれば使用できる水栓

必要に応じて揃えるもの

ワンタッチ継ぎ手 (必須)	本体とホース接続用 (参照: 本書裏面「給水ホース (付属品) の取り付けから散水テストまで」)	ワンタッチ継ぎ手 ↑ スマジョロの散水口 ↓ ホース接続
ホース	光を通さない不透明タイプで、ワンタッチ継ぎ手に接続できるもの	
給水ホース	市販の洗濯機ホースで内径13ミリのもの (劣化などで交換が必要な場合)	
分岐栓/分岐継ぎ手	給水ホースが接続できるもの (1つの元栓で蛇口を増やす場合)	
ホースジョイント	ホースの分岐、延長が必要な場合に	
スプリンクラー / 散水ノズル	点滴ノズル、霧状ノズルなど植物に合うもの スプリンクラーは水流量・水圧に合うもの	
無線LANアクセスポイント	無線LANでインターネットに接続可能な環境	

給水ホース（付属品）の取り付けから散水テストまで

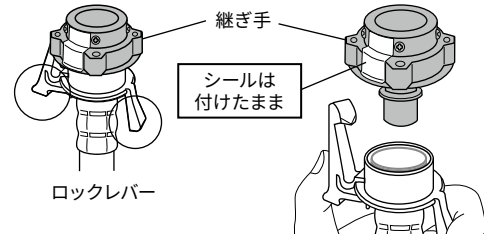
散水テストはアプリで設定する前に必ず実施することをおすすめします。

蛇口側

1. 給水ホースから継ぎ手を外します

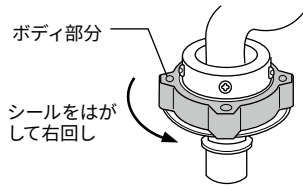
ロックレバーを引き下げのように握りつつ、継ぎ手を引っ張るようにしてください。

洗濯機用水栓へ取り付ける場合は継ぎ手は不要です。**3.**へ進んでください



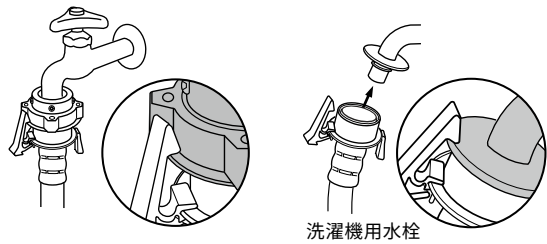
2. 継ぎ手を蛇口に取り付けます

- 継ぎ手のネジをゆるめて蛇口にはめ、継ぎ手を押し当てつつ、落ちないようにネジを均等に締めます。
蛇口にはまらないは、継ぎ手の内側にある白色透明のプラスチックリングを外してください。
- シールをはがしてボディ部分を回し、しっかり締め付けます。

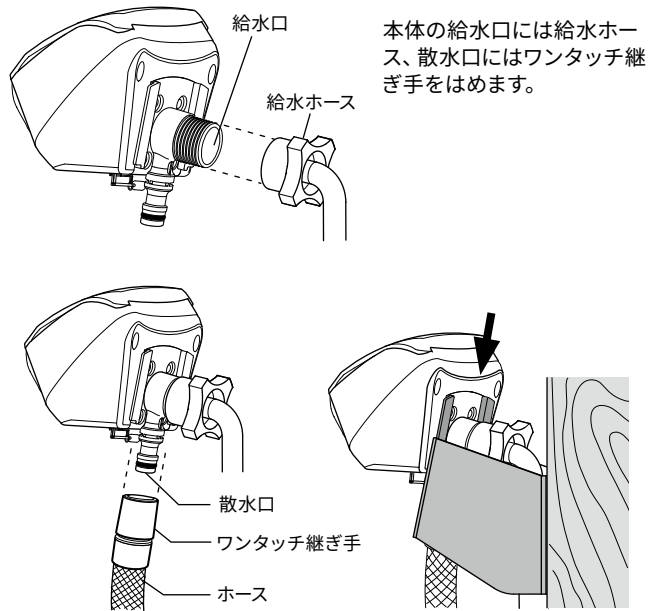


3. 給水ホースを差し込みます

ロックレバーがツバに引っかかるように差し込んでください。



本体側



- 本体から給水ホース、ワンタッチ継ぎ手を取り外すときは、蛇口を閉めた状態で散水ボタン④を押し、本体、ホース内から水を抜いた状態で外してください。本体の下には換気用の穴があり、下から水がかかると故障の恐れがあります。

散水テスト

- 本体の散水ボタン④を長押しすると、約10分間散水状態になります。
- 水道の元栓と蛇口を少し開き、本体、給水ホース、ワンタッチ継ぎ手から水漏れがないか確認します。
- 水道を全開にして、水量や散水部品の位置、噴出方向を確認します。
バルブは水量が少ないと正常に開閉しません。一般的な水道圧では故障しませんので、まずは蛇口全開でお試ください。
- もう一度散水ボタン④を押して散水を停止します。
水漏れする場合はWebヘルプ内の「SMART VALVEシリーズ よくある質問」を参照してください。

アプリを使う

Android版はGoogle Playストア、iOS版はApp Storeから「TandD SmartValve」で検索してアプリをダウンロードしてください。初めて使うときは本体とスマートフォン/タブレット端末がBluetooth通信できる状態にしてください。

機器の追加（登録）とタイマー設定

- アプリを起動し、画面右下にある追加ボタン[+]をタップすると、機器を検索してシリアル番号をリスト表示します。
シリアル番号は本体の底部で確認できます。
- 対象のシリアル番号をタップします。
- パスコード入力画面で任意の数字4桁を入力し、登録を完了するとトップ画面に移行します。
- 登録機器をタップすると個別画面を開きます。
メニューから[タイマー設定]を選択してタイマーリストを開きます。

機器名称の編集は右上のペンアイコン[✎]をタップしてください。
- 初期値のタイマー設定が表示されます。タップして編集画面を開き、設定を変更してください。
別のタイマーを作成するには、追加ボタン[+]をタップしてください。

必須設定項目: タイマー名、曜日の指定、散水開始時刻と終了時刻の指定
- 編集画面右上にある[保存]をタップするとタイマーリストに追加されます。

トップ画面へ

機器名称の編集



個別画面



タイマーリスト 表示例

左上のバックナビ[<]をタップすると、前画面に移行します。
画面のみかた、間欠散水や温度条件の設定手順についてはWebヘルプにて詳しく説明しています。

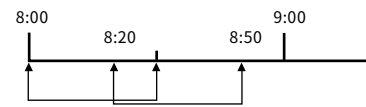
- 本体1台に20件まで（1つのタイマー名に対して3件まで）散水設定ができます。同じ曜日に4件以上の散水が必要な場合は、複数のタイマー名をつけて管理してください。
- バルブの開閉頻度が著しく高くなると本体の動作寿命を短くする恐れがあります。
- 無線LAN通信とバルブ開閉は同時に動作させることはできず、バルブの開閉が優先されます。無線LAN通信を利用される場合は、バルブの開閉間隔を1分以上空けるように設定してください。
- 機器名称とタイマー名はカタカナ、漢字、絵文字、記号、英数字の組み合わせで入力できる文字数が異なります（UTF8使用）。目安は全角で2～5文字、半角英数字で最大16文字です。

散水時間が重なったときの動作ルール

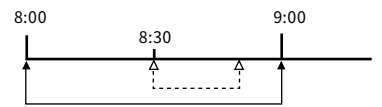
散水開始時刻が同じ、または散水中に別の散水開始時刻になるなど、設定が重なる場合には散水終了時刻の遅い設定、散水時間が長い設定を優先します。

例1: 「8:00から30分間散水」と「8:20から30分間散水」

例2: 「8:00から1時間散水」と「8:30から10分間散水」

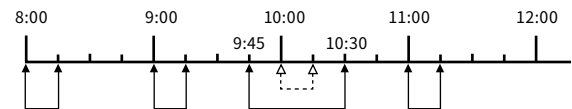


8:00から8:50まで50分間散水を行う



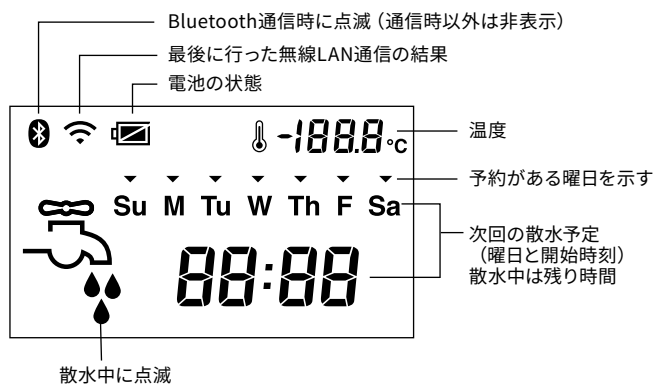
8:00から9:00まで1時間散水を行う

例3: 「8:00から正午までOn 15分間、Off 45分間の繰り返し散水」と「9:45から45分間散水」



8:00～8:15、9:00～9:15、9:45～10:30、11:00～11:15に散水を行う

画面の基本表示



最後に行った無線LAN通信の結果

	点灯	通信成功
	点滅	アクセスポイント接続エラー
	交互点滅	サーバ接続エラー

- 通信中は3本が流れるように点灯します。
- 無線LAN設定をしなければアイコンは非表示です。

電池の状態

- 動作可能
- 電池交換時期
- 動作不可

- アイコンが②から③に変わるまでの期間は最長1ヶ月です。散水と通信の頻度、使用環境や電池の性能などにより短くなります。
- 無線LAN通信機能利用時に②になると、スマートフォンにプッシュ通知が届きます。
- 電池残量の低下は通信エラーの原因になりますので早めに交換してください。
- 電池を抜いて画面表示されている間に電池を交換すればそのまま動作を継続できます。表示が消えるまで放置した場合、タイマー設定、表示名等の設定は本体内部に保持されますが、時刻情報や散水ログは消えます。

SMART VALVEシリーズ ヘルプ

アプリでの操作/設定に関する詳細はヘルプにて説明しています。

